

# JIS

## γ線検出形水モニタ

JIS Z 4330 : 2008

(JEMIMA/JSA)

平成 20 年 1 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 計測計量技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	岡 路 正 博	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
(委員)	石 川 洋 一	社団法人日本電気計測器工業会
	石 崎 法 夫	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	石 野 耕 也	環境省
	市 原 裕	株式会社ニコン
	伊 藤 尚 美	社団法人日本計量機器工業連合会
	大 園 成 夫	東京電機大学
	河 野 嗣 男	首都大学東京名誉教授
	頓 所 達 男	日本精密測定機器工業会
	桧 野 良 穂	独立行政法人産業技術総合研究所
	(専門委員)	福 永 敬 一

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 62.2.1 改正：平成 20.1.20

官 報 公 示：平成 20.1.21

原 案 作 成 者：社団法人日本電気計測器工業会

(〒105-0012 東京都港区芝大門 1-2-8 野依ビル TEL 03-5408-8111)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：計測計量技術専門委員会 (委員長 岡路 正博)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文.....	1
1 適用範囲.....	1
2 引用規格.....	1
3 用語及び定義.....	1
4 種類.....	3
5 性能.....	3
5.1 計数回路の相対指示誤差.....	3
5.2 $\gamma$ 線等価濃度換算係数.....	3
5.3 確認用線源に対する応答.....	3
5.4 レスポンスの線量率特性.....	3
5.5 応答時間.....	3
5.6 バックグラウンド及び外部放射線の影響.....	4
5.7 指示値変動.....	4
5.8 ドリフト.....	4
5.9 警報レベルの安定性.....	4
5.10 故障検知.....	4
5.11 オーバロード特性.....	4
5.12 温度特性.....	4
5.13 湿度特性.....	4
5.14 電源電圧の変動に対する安定性.....	4
5.15 検出部及び測定部の予熱時間.....	4
5.16 流量の安定性.....	5
6 構造.....	5
6.1 構造一般.....	5
6.2 検出部.....	5
6.3 測定部.....	5
6.4 警報表示部.....	5
6.5 確認用線源.....	5
7 試験.....	6
7.1 試験条件.....	6
7.2 試験方法.....	6
8 試験の種類.....	9
8.1 形式試験.....	9
8.2 受渡試験.....	9
9 形式試験報告書.....	10